平成31年度 高松市伝統的ものづくり振興事業(案)

平成30年8月2日(木) 平成30年度第2回高松市伝統的ものづくり振興審議会



目次

- 1 平成31年度の取組内容一覧(案)
- 2 事業経過表
- 3 平成31年度各事業内容(案)
 - (1) 高松市伝統的ものづくり振興審議会
 - (2) 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室
 - (3) 夏休み親子探検隊リーフレット
 - (4) 伝統的ものづくり学校巡回教室
 - (5) 伝統的ものづくり事業者対象セミナー
 - (6) 香川漆芸魅力発信戦略事業
 - (7) 展示会等見本市出展等補助
 - (8) 伝統的ものづくり振興事業補助金
 - (9) その他検討中の事業
 - たかまつ工芸ウィーク(仮称)
 - ・基隆市における特産品販売イベント

1 平成31年度の取組内容一覧(案)



2 事業経過表

番号	事業項目	施策 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥						平成30年度	平成31年度	
	2 213 24 13		2	3	4	(5)	6	1 7772 1 772		
1	高松市伝統的ものづくり振興審議会	-	-	-	-	-	-	0	0	
2	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室	-	-	0	-	-	-	0	0	
3	夏休み親子探検隊リーフレット	-	-	0	-	-	-	0	0	
4	伝統的ものづくり学校巡回教室	-	-	0	-	-	-	0	0	
5	伝統的ものづくりセミナー	-	-	-	0	0	-	0	0	
6	香川漆芸魅力発信戦略事業	0	0	0	0	0	-	0	0	
7	展示会等見本市出展等補助金	-	-	0	0	0	-	0	0	
8	伝統的ものづくり振興事業補助金	0	0	0	0	0	-	0	0	
新	たかまつ工芸ウィーク(仮称)			0	0			_	0	
新	基隆市における特産品販売イベント			0	0			_	0	

3 (1) 高松市伝統的ものづくり振興審議会

【概要】

伝統的ものづくり振興事業の具体的な施策を実施するに当たり、公平性・透明性の観点から協議・評価を行うため、有識者等で構成した「審議会」を設置。国、県、関係機関をオブザーバーとして、情報共有・アドバイスをいただいている。

【平成31年度事業(案)】

伝統的ものづくり振興事業補助金の審査、普及啓発、販路の開拓、伝統的ものづくりの事業者等に対する支援等に向けた具体的な取組について議論いただく。

回	予定	審議内容
1	5月頃	・平成30年度高松市伝統的ものづくり振興事業報告・決算・平成31年度高松市伝統的ものづくり振興事業計画・予算・高松市伝統的ものづくり振興事業補助金 審査
2	8月頃	・高松市伝統的ものづくり振興事業についての検討

3 (2) 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室

【概要】

親子で地域の歴史と合わせて発達した高松市の伝統的ものづくりの理解と関心を深める普及啓発を目的とし、講師を招いて、子どもの夏休みの宿題を完成できるような内容とする。

【平成31年度事業(案)】

番号	コース内容
1	松を知ろう!黒松の苔玉づくり体験
2	楽しい!高松張子
3	ミニ障子・コースターづくり体験
4	菓子木型を使った和三盆・練りきりづくり体験
5	讃岐のり染 藍染めハンカチづくり体験
6	讃岐かがり手まり「まきまき」体験





【周知方法】

市内で夏休みに実施する体験教室 を取りまとめたリーフレットを作成し、 市内の全小学校へ配布。

【応募方法】

往復はがきで申込受付。 抽選にて決定。

【定員】

各15組×6コース×2(午前・午後) =180組



3 (3)夏休み親子探検隊リーフレット

【概要】

夏休み期間中に、小学生とその保護者を対象に開催される、本市主催の講座やイベントを中心に1枚にまとめたリーフレットを作成し、市内の全小学生へ配布する。

配布先 市内小学校の全児童 約24,000人

掲載内容 夏休み期間中に、小学生とその保護者を対象に開催される、

本市主催の講座やイベント等

3(2)伝統的ものづくり夏休み親子体験教室も掲載



※参考 平成30年度夏休み親子探検隊リーフレット

3 (4) 伝統的ものづくり学校巡回教室

【概要】

市内の小中学校から希望調査をとり、希望のあった学校に伝統的ものづくりに携わる職人を派遣し、体育館等に各ブース(香川漆器・庵治石・盆栽等)を設置して、生徒が、伝統工芸に関する話を聞いたり、作業風景や作品を見て質疑応答を行う場を設ける。

【目的】

次代を担う子どもたちが伝統的ものづくりについての理解と関心を深めるとともに、高松の歴史を伴う伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目指すと共に、伝統的ものづくりの普及啓発・人づくりの推進も併せて目指す。

【平成29年度からの経緯】

	~平成29年度	平成30年度~
1	生徒1人につき1作品を 作成	職人の話を聞いたり、作業風景や作品 等を見て適宜質問をする。
2	開催場所:美術室等 (作業場)	開催場所:体育館等 (まとまった人数が収容可能な場所)
3		3コース(香川漆器、庵治石、盆栽)を 同時に開催。→同時に3つの伝統工芸 に触れることが出来る。



3 (5)伝統的ものづくり事業者対象セミナー

【概要】

異業種間のつながりをつくること、伝統的ものづくりに携わる方の学びの場を作ることを目的とし、事業者対象セミナーを開催する。合わせて、伝統的ものづくりの展示販売会を開催し、伝統的ものづくり分野だけに限らない事業者間の繋がりへと発展させ、次のアクションに結びつくような場を設ける。

【平成31年度事業(案)】

セミナー&ディスカッション

ものづくり事業者を対象としたセミナーを開催する。座談会形式も検討。









3 (6)香川漆芸魅力発信戦略事業

【概要】

優れた技法が伝わる「香川漆器」について、ブランド化の核となるブランドイメージの形成を図るとともに、認知度向上と若手漆芸作家の活動支援のための取り組みを香川県と共に実施する。

【平成31年度事業】

香川県文化振興課と協議の上、事業内容を検討予定。

【参考:平成30年度事業計画】

	事業名	事業内容	
1	N = 36 71 1 = = =	富裕層の購読者が多い女性誌『家庭画報』(世界文化社)へ掲載するとともに、 香川漆芸の技法を用いた製品等を制作する。	継続
	利冏吅 败冗又 抜争未	山展	継続
3	新商品開発支援事業	ZOKOKU BRAND推進委員会に参加する漆芸作家に対し、 ZOKOKU BRAND用の新商品の制作開発費を支援	継続
4	漆芸研究所修了作品 貸出事業	県内外の民間企業・団体に対し、漆芸研究所修了作品を一定期間無償で貸出	継続

3 (7)展示会等見本市出展等補助

【概要】

普及啓発・販路拡大を目的として、以下見本市等展示会に補助金の助成を行う。

【平成31年度補助対象事業(案)】

内容	交付先	
第82回香川の家具とぬりもの新作見本市補助金	香川県漆器工業協同組合	継続
あじストーンフェア2019補助金	讃岐石材加工協同組合	継続
第54回全国漆器展補助金	香川県漆器工業協同組合	継続
第37回香川の漆器まつり補助金	香川県漆器工業協同組合	継続

※参考

あじストーンフェアは下記2つの組合が隔年で持ち回りで

開催。

2018主催:協同組合庵治石振興会(庵治町) 2019主催:讃岐石材加工協同組合(牟礼町)

3 (8) 伝統的ものづくり振興事業補助金

【概要】

伝統的ものづくりの技術や素材を活用し、伝統的ものづくり事業者及び関係団体等が取り組む販路開拓や担い手育成、ブランドカ向上に係る事業に対し、費用の一部(上限額50万円、補助額は総事業費の1/2)を補助することにより、自主的な活動の促進や事業者の事業環境の整備を図り、伝統的ものづくりの振興に繋げることを目的とする。

【補助内容】

	補助対象事業	内容		上限額
1		伝統的ものづくりに係る製品の販路の開拓のために、市外で 開催する展示会、小売店等での出店・PR事業		
2		伝統的ものづくりに従事する者又は従事しようとする者の経 営力及び技術力向上又は技術修得に資する事業(参加・主催 を問わない。)	各 1 / 2 以内	各 5 0 万円
3	ブランドカ向上 事業	現代生活に適応した新しい形式の伝統的ものづくりに係る製 品の開発及び外部専門家等を活用したブランドカ向上事業		

※ 伝統的ものづくり振興審議会にて審査を実施。

3 (9)その他検討中の事業

たかまつ工芸ウィーク(仮称)

新規

【概要】

各団体や民間の事業者、市施設等が行う伝統的ものづくり関係のイベントを同一期間に実施することにより、同一の広報物等を作成して広く内外へPRする。また、ワークショップや産地ツアー等の体験イベントを開催することで、伝統的ものづくりの普及啓発及び販路拡大を図る。

【平成31年度事業内容(案)】

〇会期

瀬戸内国際芸術祭 秋会期 (9月28日~11月4日)の期間中

- ○開催場所市内の各事業所及び市の施設
- 〇内容(案)
 - ワークショップの開催
 - 産地ツアーの実施
 - ・展示販売会の開催

基隆市における特産品販売イベント

新規

【概要】

台湾・基隆市にて特産品販売イベントを開催する。本市の産品の販売のみならず、展示 や体験を含めて来場者へ紹介する。

なお、開催にあたっては香川県等の関係機 関と連携して実施する。

※内容に関しての詳細は未定